

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品……定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 （単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金（決済用）	0	250,000,000	0	250,000,000
定期預金	17,676,400	0	0	17,676,400
投資有価証券	549,815,083	23,667	250,000,000	299,838,750
小 計	567,491,483	250,023,667	250,000,000	567,515,150
特定資産				
シンポジウム準備積立資産	4,563,873	0	0	4,563,873
記念事業等積立資産	1,700,000	0	0	1,700,000
啓発事業積立資産	5,971,450	0	500,000	5,471,450
調査研究事業等積立資産	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	15,235,323	0	500,000	14,735,323
合 計	582,726,806	250,023,667	250,500,000	582,250,473

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 （単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
普通預金（決済用）	250,000,000	(250,000,000)	(0)	—
定期預金	17,676,400	(17,676,400)	(0)	—
投資有価証券	299,838,750	(299,838,750)	(0)	—
小 計	567,515,150	(567,515,150)	(0)	—
特定資産				
シンポジウム準備積立資産	4,563,873	(0)	(4,563,873)	—
記念事業等積立資産	1,700,000	(0)	(1,700,000)	—
啓発事業準備積立資産	5,471,450	(5,471,450)	(0)	—
調査研究事業等積立資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	—
小 計	14,735,323	(5,471,450)	(9,263,873)	0
合 計	582,250,473	(572,986,600)	(9,263,873)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	520,800	520,797	3
著作権	223,300	—	223,300
合 計	744,100	520,797	223,303

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

単位：円

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第9回大阪府公募公債(20年)	199,838,750	211,280,000	11,441,250
千葉県第13回20年公募公債	100,000,000	103,600,000	3,600,000
合 計	299,838,750	314,880,000	15,041,250

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

単位：円

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	7,661,000
啓発事業等の当期実施額	500,000
合 計	8,161,000